



渋谷区立原宿外苑中学校

令和6年11月号（11月1日発行）

学校だより

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/haragaij>



イノベーターの「勘」と「感」

校長 駒崎 彰一

これからの時代は、創造（クリエイティブ）するスキルが必要であると言われています。先行きが不透明で将来の予測が困難な時代では、革新的な創造により「新しいコト・モノ」を創出していく必要があると考えられているからです。

しかし、「新しいコト・モノ」を創出したとしても「前例がない」「エビデンス（科学的確証）がない」と反対する言動が少なくない状況が現在の日本の文化にはあります。「新しいコト・モノ」の創出は、当然ながら「前例」は無く、「エビデンス」に基づかない、「勘」と「感」によるものがベースになることが多いからです。「感」は、感覚や感情によって何かを感じることに。「勘」は、論理的な根拠がなくても直感的に感じ判断することを意味します。

イノベーター（Innovators：革新者）と言われる人達が一定数存在すると言われています。イノベーターとは挑戦・冒険心があり、「新しいコト・モノ」を（好んで）採用するタイプの人と捉えることができます。初めてのコト・モノに挑戦・冒険するということは誰もが躊躇するものです。まだ、誰もやったことがなく、どんなメリットが明確にあるかわからない段階で「これは良い！」という「勘」や「感」を働かせて「とにかくやってみる」。このイノベーターの割合は、全体の2.5%ほどであるという理論もあります。

アメリカ・スタンフォード大学の社会学者 エベレット・M・ロジャース教授（Everett M. Rogers）による「イノベーター理論」

当然ですが、民間企業のトップには「イノベーター」と呼ばれる存在が多いと言われています。

老舗の和菓子屋「虎屋」の黒川 光博 社長は「重要な決断の“ひらめき”には根拠がある」として、『勘や感というのか、「ひらめき」というのか、とにかく「これを今やるべき」という意識は理屈や理論ではないところで必ず出てきますし、自分がそうと感じたら実行するようにしています。』と語っています。

文房具やオフィス家具、事務機器を製造・販売する「コクヨ」の黒田 英邦 社長は『カンが働いたとき、その理由を探してみんなが分かるストーリーに翻訳する』と言っています。「理屈や理論から積み上げ、そこから発想するやり方もあるかもしれませんが。ただ僕の場合、そういうやり方だと枠組みにとらわれてしまうし、何より楽しくなくなっちゃうんです。」と語っています。

このようなイノベーターたちの「勘」や「感」は、単なる「おもいつき」ではなく、これまで積み重ねた技術や経験値から導き出される「ひらめき」であると捉えることができます。まずは自分で知識や技術を積極的に学ぶ（インプット）すること。そして、インプットした知識や技術を積極的に活用（アウトプット）して経験値を積むこと。さらに、「ひらめき」をチームで共有して「とにかくやってみる」ということ。

まさにAIが大量のデータから最適解を導き出すといったことと同じ状況にあると考えることができます。AIとイノベーターの違いは、イノベーター（人間）は最適解をすぐに行動に移すことができるということではないでしょうか。

このように「新しいコト・モノ」を創出していく、そして失敗を恐れず、許容する文化を構築する必要がありますと考えられます。これは、本校のキャッチフレーズである「やっちゃえ」の精神（Don't think. Just do!）、失敗を恐れずに「とにかくやってみる」ことにつながります。積極的な「失敗」から、冷静に課題を分析、試行錯誤を粘り強く繰り返すことで「成功」につなげていく。そして、その先にある「新しい文化（カルチャー）」を構築・発信していく必要（「CX カルチャー・トランスフォーメーション」）があるのではないかと・・・。

イノベーターの「勘」と「感」、これから広がるのが予想される「AI」の判断、これらを創造的（クリエイティブ）に融合して、すぐに行動していくこと。これからの時代をたくましく生きるために必要なスキルにつながるのではないのでしょうか。

NAMIKI FES 2024 なみき祭（舞台発表の部）

伝統の「合唱コンクール」と「吹奏楽」、そして各種「学びに関するプレゼンテーション」さらに新規企画（バンド・お琴・???）を展開したなみき祭（舞台発表の部）。まさに「伝統」と「革新」を融合した行事になりました！





Tokyo Running FES 2024 きれいな渋谷プロジェクト with 原宿外苑中学校

「きれいな渋谷プロジェクト」と「東京マラソン財団」と本校生徒会とのコラボ企画による全校一斉地域清掃を行いました！ 10月20日（日）に国立競技場にて開催の東京レガシーハーフマラソン 2024 に向けて気持ちよくランナーに走ってもらおうとホストタウンとして地域清掃を展開しました。



3年生による「ゆかた」デザインコンテスト 2024

今年も「きものやまと」collaborationによるコンテストを開催。2次審査まで終えて以下の5点が最終審査進出になります。最終審査については、後日、本校および「株式会社やまと」Webサイトにてお知らせします！



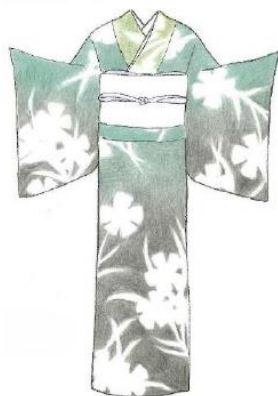
「椿」



「綺麗な花と爽やかさ」



「お祭りのクリームソーダ」



「涼しげな風景～秋の七草によせて～」



「竹」



探究×STEAM 教育

ボリュメトリックビデオ 「Volumetric Video」を活用した PBL 課題解決学習（3年生）



株式会社 Nikon との Collaboration 企画です。生徒が主体となり先端技術「ボリュメトリックビデオ」を活用して、保健体育の球技「バレーボール」の授業で、様々な運動スキル等について PBL: Project Based Learning チームで課題を解決していく学びに挑戦しました。

「ボリュメトリックビデオ」とは・・・英語の「Volumetric Video」を直訳すると「容積のある動画」となります。写真は2D 静止画。動画は2D静止画に時間方向のデータが積み重なったもの。これに対して「ボリュメトリックビデオ」は、3Dデータに時間方向のデータが積み重なったものになります。この撮影技術は最先端の領域として、光学機器メーカー等による研究開発やスタジオ開設等が行われ、この映像を目にすることが増えてきています。今回、この可搬式システムを株式会社 Nikon が開発。7月に本校にて撮影を行い、9月に生徒がプレゼン制作、10月に発表会となりました。（7月に行った撮影の様子）



保健体育の授業からスタートした「学び」でしたが「教科」や「学年」といった既存の学校の枠を越えて「学び」が深まり、数学や理科、社会科や音楽、そしてプレゼンのデザインの美術的な要素など・・・これまで学んだ知識をフル活用するとともに高校で学ぶ内容や物理学などの理論も取り入れ、充実した発表会になりました。

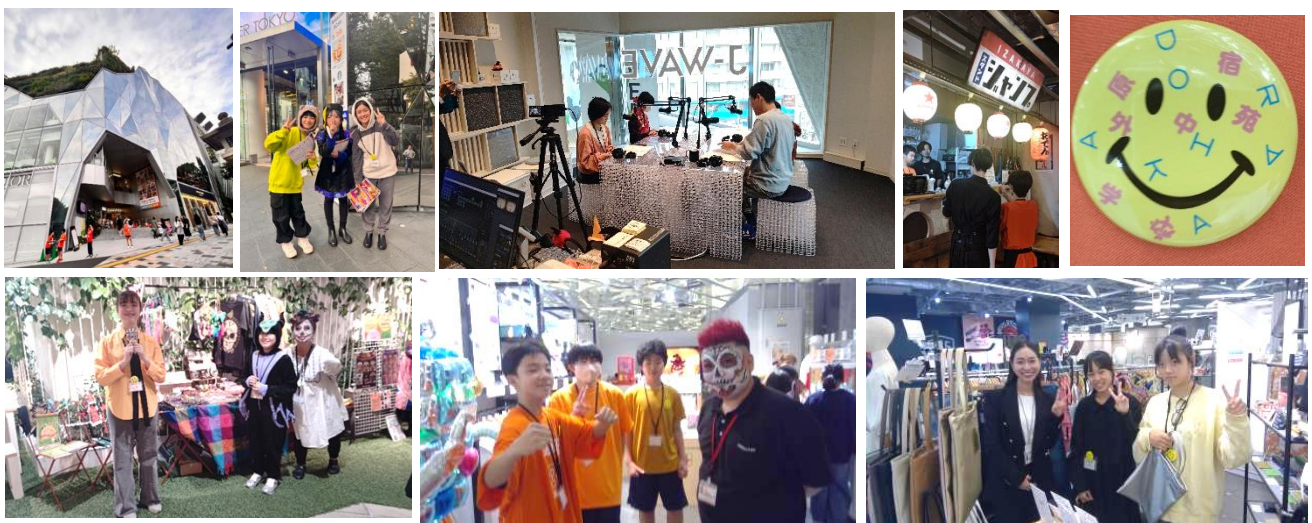
教科学習をベースに「探究」で学びを深めることで、まさに「STEAM」 Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学・ものづくり)、Art (芸術)、Mathematics (数学) な学びとなりました。



東急不動産株式会社×原宿外苑中学校コラボ企画！

東急プラザ原宿「ハラカド」半日 地域インターンシップ

東急プラザ原宿「ハラカド」では、毎月最終水曜日に「ワラカドデー」を開催しています。この「ワラカドデー」において、毎月1クラスこの日の午後に職場体験「地域インターンシップ」といった「学び」を展開していきます。第1回の10月は1年A組。「ハロウィン」をテーマに、イベントや装飾を施して館内全体でハロウィンを演出する業務にあたりました。



表彰

【陸上競技部】

JOC ジュニアオリンピックカップ第55回 U16 陸上競技大会 男子 100m 第6位 村上 永遠
 第77回東京都中学校支部対抗陸上競技大会 4×100m 第6位 夏目 龍明・秋元 瞭・大林 翔・村上 永遠
 男子3年 100m 第1位 村上 永遠

【卓球部】

渋谷区卓球新人大会 男子団体準優勝 原宿外苑中学校
 男子個人 第3位 小家空知 第5位 福住勘太 (男女計11名 都大会出場権獲得)

【男子バスケットボール部】

多摩市中学校バスケットボール大会 第2位

【女子バスケットボール部】

多摩市中学校バスケットボール大会 第2位

	日	月	火	水	木	金	土
今月の 予定						1	2
						渋谷研一斉 TLD	
	3	4	5	6	7	8	9
	文化の日	振替休日	後期中間考査 (全)	後期中間考査 (全)	後期中間考査 (3)		CS 防災キャラバン
	10	11	12	13	14	15	16
		領域診断テ スト(2)	職場体験(1) (始)		職場体験(1) (終)		
	17	18	19	20	21	22	23
		車いすバスケ 観戦(全)		職員会議・研修会	安全指導		勤労感謝の日
	24	25	26	27	28	29	30
ESAT-J (3)	TLD	避難訓練	TGG校外学習 (2)				

	日	月	火	水	木	金	土
来月の 予定	1	2	3	4	5	6	7
		三者面談(始)				三者面談(終)	
	8	9	10	11	12	13	14
		TLD			安全指導		
	15	16	17	18	19	20	21
			避難訓練				
	22	23	24	25	26	27	28
				全校集会 職員会議・研修会	冬季休業日 (始)		
	29	30	31				